



弘前市議会議員 坂本 たかし

レポ 活動REPO



坂本たかし後援会通信
2021冬号

平成31年4月に行なわれた弘前市議会議員選挙において、皆様のご支援をいただき初当選させていただきました。初めの2年間は無所属議員として活動させていただいておりましたが、令和3年5月より、新会派「櫻鳴会」所属となりましたことをご報告いたします。



坂本たかしの弘前市議会定例会一般質問項目（令和3年6月～令和3年12月）

◆令和3年第2回定例会(令和3年6月)

1. コロナ禍における今後のイベント・行事の対応について
2. 弘前市のソーシャルメディア活用リスクマネジメントについて
3. 歴史的建造物について
 - (1) 文化財指定について
 - (2) 歴史的風致形成建造物について
 - (3) 観光面等での今後の活用について

◆令和3年第3回定例会(令和3年9月)

1. 災害ボランティアについて
2. 障がいのある方の就労支援について
 - (1) 特別支援学校生のインターンシップについて
 - (2) 農福連携について
3. 弘前れんが倉庫美術館周辺の価値向上事業構想について

◆令和3年第4回定例会(令和3年12月)

1. 弘前市のボランティア施策について
2. 弘前市の四大まつりについて
 - (1) 今年の弘前城菊と紅葉まつりについて
 - (2) 今後のまつりについて



一般質問の様子は弘前市議会ホームページで視聴することができます。
<http://www.kensakusystem.jp/hirosaki-vod/index.html>

活動あれこれ



交通安全市民総決起大会に参加
(2021.4.6)



弘前市内りんご園地視察 (2021.6.25)



弘南鉄道大鰐線津軽大沢検修所
会派視察 (2021.6.28)



大森勝山遺跡「世界遺産登録記念セ
レモニー」に出席 (2021.7.29)

弘前市のボランティア施策について

Q:人口減少、少子・高齢化が進み、様々な課題を抱える中で、弘前市が目指す地域住民が一丸となって支え合う地域共生社会を実現するためには、自主的に率先して行動するボランティアの方々への存在は不可欠であり、各種ボランティア活動に対する理解と支援が今後益々重要になるものと考えます。市は今後どのようにボランティア支援に取り組んで行くのか、お考えをお聞かせください。

A:ボランティアの裾野の拡大や活動内容の充実につながる支援施策の強化と、その支援体制を早急に

整備し、当市におけるボランティア活動の一層の活性化を図っていくため、来年4月に市のボランティア支援センターと社会福祉協議会のボランティア支援センターの機能を統合し、新しいボランティアセンターを開設することといたします。新センターにおきましては、市民がボランティア活動に積極的に参加できる仕組みづくり、ボランティア活動をけん引する人材の育成、企業のボランティア活動への参加促進のほか、学生のアイデアを生かし活躍できる機会の創出など、新たな事業に取り組み、市民の多様な分野にわたるボランティア活動の推進と支援を行う拠点として発展させてまいります。

弘前市四大まつりについて

Q:現在、コロナウイルスは沈静化していますが、今後第6波の襲来等が懸念されており、まだまだ予断を許さない状況下にあります。このような状況下で、弘前市の四大まつりも来年2月の雪燈籠まつり、春のさくらまつり、夏のねぶたまつりへと準備が進んで行くことになると思いますが、来年に控える今後の四大まつりをどのように開催して行くお考えか、現時点の方針をお聞かせください。

A:今後のまつりの開催にあたりましては、これまで開催してきたまつりや、今回の弘前城菊と紅葉まつりで

得た知見を活かすとともに、県が作成した「青森県祭り・観光イベント 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、感染防止対策を強化した市独自の感染防止対策マニュアルを作成し、徹底した感染防止対策を講じて、安全安心にまつりを開催できるよう主催者間において、協議を重ねてまいりたいと考えております。

今後も県内外の感染状況を注視し、ワクチン検査パッケージ制度の適用状況なども見極めながら、まつりを楽しみにされている市民や観光客が、安心してお越しいただけるよう努めてまいります。

弘前市が誇るお宝が評価された2021年

2021年は、弘前市が誇る多くのお宝が国内外から評価された年でした。大森勝山遺跡を含めた「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録、昭和の建築物としては初となる木村産業研究所の国の重要文化財指定の話題や、久渡寺の幽霊画、普門院本堂の市の有形文化財指定、亀甲町の川崎染工場、土手町の一戸時計店の歴史的風致形成建造物指定、更には弘前れんが倉庫美術館が「フランス国外建築賞(AFEX Grand Prix 2021)」のグランプリを獲得する等、我が弘前市の多くのお宝が評価されたニュースは長引くコロナ禍が暗い影を落とす中、久々に明るい話題でありました。今後、これらの観光面や教育面等、幅広い場面での有効活用が期待されます。



世界遺産登録された大森勝山遺跡